

十日町市初の外国人地域おこし協力隊で松之山地域下布川地区の2集落を担当してきたフランス出身のローラン・アントワヌ・テオフィルさん(39)が退任。27日、十日町市役所に閑口芳史市長を訪ね活動報告を行った。ローランさんは今後も十日町市に定住し観光業で地域貢献に励む。

下布川地区の松口と三桶の2集落を担当。美人林入口にある直売所の運営も担い、地場産野菜や木工品の販売に取り組んできた。地域に残つていいから習得し、美人林

のブナを使用の「まな板」や「皿」などの商品開発にも挑戦。地域の魅力を発信する支援をしてきた。

さらに一人暮りの高齢者宅の除雪や、月ひと月の集落の集まりやイベン『ALAM』を立ち上げる。ローランさんは「直売所での経験を観光事業に活かし、今後も美人林のブナの木工品やコメ販売を直売所で観光客への紹介や山菜やコメの出荷なども手伝っていきたい」と話す。

5カ国語を話せる強みを活かし、欧州・欧米へのアピールにも力を入れていく構えだ。観光業はオーダーメイドを考えており、「着物や縄文文化など十日町の良さを通訳

## 「魅力、世界発信する 仮出身のローランさん定住



退任後は松之山・下布川地区に定住し観光事業を立ち上げるローランさん（先月27日）